

芭蕉堂まつり ～地域の公園で文芸を楽しむ～

毎年6月に行われている「芭蕉堂まつり」について、類家連合町内会（東類家、西類家、南類家、北類家、中類家）の松橋三夫会長にお話を伺いました。

○「芭蕉堂公園（類家二丁目5-15）」とは

昭和12年、北村益（明治元年～昭和26年 政治家）の古稀を記念して建立された公園で、芭蕉の句碑や筆塚など俳聖松尾芭蕉を敬仰、その正風俳諧を鎮守する公園です。「百仙堂公園」と称されていましたが、平成16年に古くから呼ばれていた「芭蕉堂公園」の名称に改称されました。お堂の中には、宮本重良作の木彫像「旅人芭蕉」像が配置されています。

○「芭蕉堂まつり」について

平成16年の公園改称を機に、しばらく中断されていたおまつりが、二十数年ぶりに復活し、今年で11回目となりました。おまつりのメインイベントである文芸大会では、短歌、俳句、川柳の3部門に、市内外から800点近い作品が寄せられます。おまつり当日は、文芸大会の表彰式のほか、作品が展示され、皆さんで鑑賞します。

また、お堂の「旅人芭蕉」像が公開されるほか、詩吟、尺八演奏、野点を楽しむことができます。

○地域でつくるおまつり

このおまつりは、地域の皆さんのおまつりです。文芸作品は、市内外問わず寄せられますが、地域の小・中学校、高等学校からも寄せられます。会場の準備は、地域の山車組の皆さんに作品の展示パネルの準備、防犯協会の皆さんには、

交通安全もかねて制服での見守り、また婦人部の皆さんに野点や出店の準備・運営をしていただいています。特に、婦人部の皆さんには、足を向けて寝ることができません。詩吟や尺八演奏も、地域と縁のある皆さんにお願いしています。おまつり当日は、地域の子どもたちも集まり、表彰式の後にゲームをしたり、出店の食べ物を買ったりして楽しめます。準備は大変ですが、皆で楽しみながら行っています。楽しみながらやらなければ、続きません。

○今後について

地域の皆さんに楽しんでもらえるおまつりを継続していくとともに、現在も地域の小学生が、地域学習として公園を見学して勉強していますが、地域の中学生や高校生の皆さんにも、改めてこの公園について知ってもらう機会があればと思います。



にぎわう芭蕉堂公園



尺八演奏